

郷土文化が創る 「秋田愛」



[秋田市観光クチコミ大使]
日本生命保険相互会社
人事部 副部長

たか はし ひろ ゆき
高橋弘行氏

② 活力ある秋田

④ 税制改正のポイント

⑥ 会議所レポート

⑧ 会議所レポート

⑩ 外国人材受入支援機関係紹

2017年春から4年間、日本生命秋田支社長として大変お世話になりました。在任中は、貴所の会員企業の皆様はじめ多くの方々に公私にわたりご厚誼を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。

日本生命と秋田県は、第7代社長の伊藤助成氏が羽後町出身ですし、1989年オープンしたアトリオンビルなど、ご縁の深さを感じながら、着任したのを覚えております。

着任早々秋田県人口100万人割れニュースが飛び込んできました。折から2017年1月に秋田県と「少子化対策及び健康福祉分野における包括的連携協定」を締結させて頂いており、協働でお役に立つ取組として、健康診断の受診勧奨や健康セミナー開催、最近では「秋田県自転車条例」の啓蒙活動にも取り組んでおります。県民の皆様の健康増進と安心のために、少しでも貢献できるよう今後とも尽力してまいりたいと思います。

1987年に入社以来、南は九州熊本県から北は北海道札幌市まで転勤を経験してきました。「土地を愛し、仕事を愛し、人を愛す」を座右の銘とし、赴任地で充実した日々を過ごしてまいりました。自然の恵み、郷土文化、そして人の温かみはその土地々々の印象として刻まれ、ふるさとのような感覚となっていくのですが、秋田はまさにふるさとです。

秋田での4年間の数えきれない思い出の中で、特に印象深いものを一つ挙げるとすれば「秋田竿燈まつり」です。着任早々、竿燈まつりに出たいと思い、差し手の練習に参加させて頂きました。50キロの大若を手にとった瞬間に凄いと感動を覚えた矢先に腱鞘炎となり、差し手を断念するのに時間はかかりませんでした。今思えば俄かに差し手になろうなどと

は何と大それたことか、大いに反省です。

竿燈妙技は、子供のころから技を習得し、鍛錬を重ね、技をさらに高めていく長年の努力が必要です。そこには世代間の伝承があり、その地域の文化があります。竿燈まつりという郷土文化の継承が郷土愛に満ちた人間形成に繋がっていると思うのは私だけでしょうか。余談ですが、ご厚意により毎回法被を着て竿燈大通りを闊歩させて頂きましたのは、一生の思い出です。お世話になりました皆様その節はどうもありがとうございました。

1月3日、「初秋田」と思い立ち品川にある秋田美彩館を訪れました。稲庭うどんに舌鼓を打った帰り、思いもかけず箱根駅伝を人生初の生で見ることができました。今年は「きっといいことがある」と予感させる年始でした。

新型コロナウイルス感染について予断を許さない状況かと思われます。「雪に耐え梅花麗し」のごとく、苦難や試練を耐えて乗り切れば、きっと大きな喜びがあります。どうか秋田の伝統行事が再開され、秋田の素晴らしい文化の継承と「秋田愛」に満ちた人々によって、大好きな秋田が益々発展されますよう心より祈念申し上げます。

私自身も秋田の関係人口の一人として、また秋田市観光クチコミ大使の一員として微力ではありますが、今後とも秋田の応援に努めてまいります。

結びになりますが、貴所並びに皆様方の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

■略歴

1963年 兵庫県生まれ
1987年 日本生命保険相互会社入社
2017年 同 秋田支社長
2021年 現職

秋田市観光クチコミ大使 … 秋田市に縁のある経済人や転勤等で過去に秋田市に在住経験のある方々に、身近な人々へのクチコミやインターネットでの情報発信を通じて、秋田市の観光PRにご協力いただくため委嘱している。